

えんちょう先生の わくわくだより

NO. 24 3・10



お別れ会のごちそう。みんないい顔で食べました。



年長さんが作った鉛筆立て



年少さんもお当番が始まって・・・



空ははれーて
いいてんき〜♪
今日は僕らの
遠足だ〜

3/6
今年も岩村醸造さんから、甘酒を25本も頂きました。冷たくて甘い甘酒、発酵食品が身体にはとてもいいと昔から言われますが、まさにその通り。みんなで美味しい甘酒を頂き、病気に負けない様に残り少ない今年度の日々を送っていきたくです。岩村醸造さんには、本当に感謝です。特に先生達が「やったー!」と喜んでおりました。誕生会に頂きます

外でのお別れ会 楽しかったね!

世界中、コロナウイルスと言う、得体の知れない感染症に振り回されているこの頃、ウイルスは目に見えないから、どこに気をつければいいのか本当に困りますよね。小中高、支援学校も休校となり10日が過ぎました。こども園は平常通りの登園を続けていますが日々の報道や恵那市の多くの行事の中止を見るに連れ、不安は拭い去れないのも実情です。

手洗い、うがいに加えて換気、加湿にも十分に気をつけながら日々を過ごしている所です。高齢の方、持病のある方は重症になる場合があると言われてるので、お家のおじいちゃん、おばあちゃんには十分気を付けてもらって下さいね。どんな病気でも自分の免疫力を上げる様な生活が大事です。こどもには、栄養のある食事。十分な睡眠と早起き、そして運動や戸外で身体を動かして心身ともに健康である事!の様です。こども達が「できるかな5!」を3ヶ月に渡って続け、お家で協力をして頂きましたが、まさにごくごく当たり前の生活が出来る事がこれからも大事になります。こどもの身の丈に合った生活を身に付けていきたいですね。人生の中には、今回の様に思ってもいかなかった事態が度々訪れるものです。東日本大震災や河川の大洪水、アマゾンやオーストラリアの大火災など、それらに関わった人や動物は、みんなそれぞれの苦難を強いられます。そんな時、自分なら生きていけるのかと考える事はありませんか?この地は幸い大きな事件や災害もなく穏やかに過ごす事が当たり前になっています。

今回の感染症、コロナウイルスの流行を何とか食い止め、乗り越えた経験を次に生かせる様に、そしてどこにでも楽しく行ける以前の自由な日々を早く取り戻したいですね。これだけ人の移動の多い今日、誰が掛かっても不思議の無い感染症ですが、もし、身の回りの方が不幸にも感染する様な事があっても、その人を誹謗したり、軽蔑するようなことのない岩村こども園でありたいと思います。又、マスクをめぐって喧嘩が起こったり、列車の中で咳が出た人に、他の車両に変わるように言う乗客がいたりなどの報道がされていましたが、こんな時こそ、人間性が試される時ですね。朝の朝礼でも先生達には、こんな時こそ落ち着いて、出きる事をしながら、明るい日々を送っていこうと話す事です。各保育室からは、「あかりをつけましょぼんぼりに〜♪」とこども達の春の歌が聞こえてきます。最後の避難訓練も終わり、行事も誕生会と卒園式を残すのみとなりました。みんな元気に一年頑張りましたね。

◆年少さんが未満児組さんとやるはずだった帽子屋さんごっこ。大勢集まらなくても出来る方法をと、各部屋に「ぼうしやさんです。帽子をどうぞ」と届けてくれました。職員室にも寄ってきてくれて園長先生も貰ったよ。「今日の園長会に被っていくよ」と話すと、みんなにここに。上手な新聞帽子が折れるようになったね。



♥ いちねんせいになります
一・いちねんせいになります
しんばいしないでください
だげどやっぱりちよつとは
しんばいしてください
イー

二・いちねんせいになります
しつかりまじめにやります
だげどやっぱりちよつとは
ふざけるかもしれない
イー

三・いちねんせいになります
げんきにあるいていきます
だからおおきなほくしゅで
おうえんしてください
イー

